

農医連携特定講義 1

英 文 名 : Special Topics in Agromedical Science 1

科 目 概 要 : 3 群科目、選択、講義、1 単位 (15 時間)

開 講 期 : 2 年後期 [月曜 3 時限 (週 1 コマ)]

科目責任者 : 向井 孝夫

担 当 者 : 獣医学部教員

講 義 室 : 111 講義室、141 実習室

科目の位置づけ :

教育目標	本講義では、知識・技術・態度・創造的思考力を身につけることを最大の目標とする。これまでの大学教育は「知識」の習得を重視した教育を展開してきたことを反省し、学生諸君に「技能」「態度」「創造的思考力」を習得させるため、一人一人が全学生の前で発表する「農医連携入門セミナー」を実施する。このため、与えられた課題に関して、資料を自ら収集し、グループで意見交換を行い、最終的に発表のための資料・原稿を作成する。これらの作業を通してコミュニケーション能力、情報活用力、論理的思考力、チームワーク・リーダーシップ・倫理観・生涯学習力などを身に付け、知識・技能・態度を総合的に活用し問題を解決できる総合的な力を持った人材の基礎を作る。
------	---

授業内容 (シラバス)

回	項 目	内 容	担当者
1	ガイダンス	本講義の目的と内容について概説する。	向井・他
2	発表準備	テーマの設定 論点の整理	〃
3	発表準備	論点の整理と資料の収集	〃
4	発表準備	論点の整理と資料の収集	〃
5	発表準備	スライド作成と発表練習	〃
6	発表準備	スライド作成と発表練習	〃
7	農医連携入門セミナー	発表会	〃
8	〃	発表会	〃

到達目標	「知識」「技能」「態度」「創造的思考力」の4つの力を身につけ、社会において自立し自己実現できる人間になるために、自己を向上させる力と実践する力を身につけることを到達目標とする。
評価方法	出席状況、受講態度、上記到達目標について筆記試験によって評価する。
準備学習 (予習・復習等)	授業開始前の予習は特に必要としないが、課題提示後は、各授業開始前に資料の収集を行い、自分の考えを整理しておくことが望ましい。授業後には、意見交換の結果をもとに、テーマに対する理解を深めること。セミナー終了後は、発表内容やまとめ方の良否についても検討し、発表技術の向上をめざすこと。
その他 注意等	これまでは、受身形の講義が多かったと思いますが、本講義では自ら行動することで情報を収集し、他者の意見を聞き、意見をまとめ、他者に分かりやすいように発表するというプロセスを経ることで、社会で役立つ「知識」「技能」「態度」「創造的思考力」の4つの力を身につけることを目指しています。自ら積極的に取り組んでください。

教科書	未定
参考書	農医連携学術叢書 No. 1~7 陽捷行 養賢堂 ¥2,730~¥5,250